

現場の声で
自治体から
雇用を訴えよう！

現場から
雇用の実態を
語ろう！

9.13

雇用を語ろう！ 大集会



**みなさん！ いま私たちは、安倍政権の言う
景気の回復を感じられるでしょうか？**

非正規雇用は増え続け、最賃はなお生活保護との
逆転現象の解消にはいたっていません。全国平均
1,000円(政労使の合意事項)は2020年までに本
当に実現するのでしょうか。ブラック企業や過労死・
過労自殺も深刻です。いま必要なのは、働く現場で
イッタイ何が起きているのかを明らかにし、それを
政治に反映させることです。

政治には出来ることがあります。

とりわけ自治体で直接雇われている人たちや自治
体が発注する仕事で働く人たちの劣悪な雇用・労
働条件(官製ワーキングプア問題)には、議会を含む
関係者に大きな責任があります。しかもそれは、民
間職場にも影響を与えるという意味でも政治の責
任は重大です。私たちはあらためて、「官からも民か
らも、なくそうワーキングプア!」を訴えます。

来春は、統一地方選挙。 私たちの声を政治(市政、道政)に届ける絶好の機会です。

集会には、建設／製造／交通／清掃／介護／保育／郵政／女性／若者などなど、多くの労働者が発言を予定しています。
札幌市議に対する公開質問の結果発表も予定しています。わがマチで働く人たちの現状を語り合い、政治に声を届けましょう。

日時 9月13日(土)13:30～17:00

場所 北海学園大学(地下鉄東豊線「学園前」下車)5号館 5階 50番教室

主催 「9.13雇用を語ろう!大集会」実行委員会 (実行委員長:弁護士 伊藤誠一)

(札幌地区連合、全建総連札幌、札幌地区労連、反貧困ネット北海道、日本労働弁護団北海道ブロック)

連絡先 弁護士 渡辺達生(北海道合同法律事務所) 電話011-231-1888

費用 **無料**